



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵を つくりました

地元の声

・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆防護柵の整備により、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

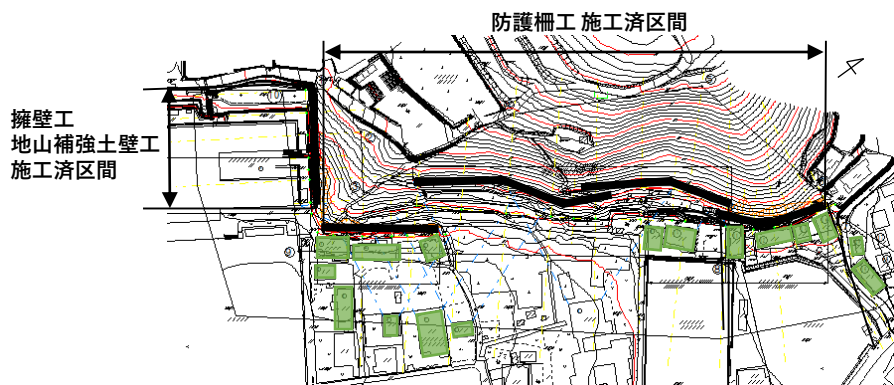
- 事業箇所：桐生市西久方町一丁目
- 事業内容：擁壁工 延長20m
地山補強土壁工 延長46m
防護柵工 延長268m
- 事業期間：平成27年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

今、何をしているか

令和5年度に事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了